

わたぼうし新聞 第19号

発行者：わたぼうし連絡会
発行日：1990年(平成2年) 6月1日

第19号の特集 「私の自助具」

梅よ
美しい梅の花よ
その花をおとし
実を結んだあなたは
もっと 美しい
実を おとし
葉を おとし
枝だけになった
あなたは
もっと美しい
梅であるために
じいっと
立っている
じいっと
立っている……

この新聞は障害のある人、ない人が自由にそれぞれの考え等を出し合い、主義、主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

テーマ 《私の自助具》

今回は、前回に引き続いて自助具についての具体的な生活用品について掲載いたします。

自助具とは、「自らの自立を助けるための機器」をいいます。障害に応じて、ぴったりあった自助具を選ぶことが出来れば、自立の手段としてこれほど有能な力を発揮するものはないでしょう。今回は食事に使う自助具について、簡単に説明をします。

なお、この説明は平成2年度『NHKラジオ社会福祉セミナー』テキストの「福祉機器あれこれ」を参考文献に使用しました。

食事用自助具

食事は、自分本来のペースで飲食を楽しむものです。こぼしたり、衣服を汚したり、飲み込みにくかったりすれば時間もかかります。調理の工夫や材料の加工法などで、食べやすい大きさや温度にすることも大切です。

箸、スプーン、フォーク、皿、コップなどの食事用の自助具を工夫し、一人で自立した食事ができる喜びは、どんなに素晴らしいものでしょう。

スプーンやフォークを自分の手で握れない場合は、ホルダーというものに固定して、マジックテープで手のひらに付けて使用するものがあります。

スプーンやフォークの細い柄を握りにくい場合は、柄の部分を太くして使います。太くするには、フォームラバー、指の形に合わせくぼみを付けたクリップ、木製の握りなどを付けます。

手首や腕の動きが悪く、手先が口に届かない場合は、柄もとのほうが手前に曲がっている曲がりスプーンがあります。長柄付きのスプーンは、手の位置が口の位置から遠くても利用できるようにしたものです。

スプーンとフォークとナイフと同時にかえて使えるものは、もちかえを必要としません。

箸を落としやすい人では、両方の箸を細い鎖で結び、ラインで滑り止めをしたものがあります。指先の動きや巧緻性の低下した人などには、しつけばしも重宝です。

食器が動きやすかったり、割れやすい場合は、吸盤や滑り止めマットや仕切り板などを利用して固定します。滑り止めマットは、適当な大きさにカットできるロール状のものが便利です。また、お盆の表面に滑り止め加工があるものもあります。

吸飲用の自助具

普通のコップを握れない場合は、コップホルダーを利用します。両手用や片手用の取っ手があります。コップの固定は、コップの大小にあわせて、ネジ留めの必要があります。

吸い口のあるふた付きコップは、コップが倒れても水分がこぼれず、ふたのゴムを押すか、吸い口を吸うとなかのものが出てきます。コップのふたに付いている穴に指先をあてて開閉し、流れる量を調整できるものもあります。むせやすかったり、飲みにくい場合などに便利で、スープや流動食には最適です。採取物により、吸い口を交歓してオートミールや三分粥程度まで利用できます。

ストロー付きのコップやボトルも取り扱いが簡単で、水分の補給に適しています。ストローの短いものは、スポーツ飲料用のビニール管付きのボトルなどは重宝です。

トイレの心配、道の悪さ、そして自立へ（私の足） 在宅障害者

私が電動車いすに乗ってから5年目になります。今年も電動車いすの季節がやってきたようです。私の場合は、毎日電動車いすに乗って職場に通勤しています。しかし、雪が積もるとだめですけれども、365日利用をしているのです。

今年も電動車いすに乗って、街へ買い物やいろいろなことに私の足変わりとなってくれるでしょう。

一回の充電で走れる時間は3時間半から4時間ぐらいです。一定の時間内にどれだけかは遠くへ行くことができますが、私の電動車いすは普通のものよりも、少し早く走れるのです。1時間に6キロメートル走ることができ、だいたい3時間だと18キロメートル走れることになります。

しかし、金沢の街は坂やガタガタな道が多くて、長時間走れないのが現実です。今年は思いっきり街へ出て行きたいと思っています。

街へ出るときに一番心配なことはトイレです。途中でトイレがしたくなったらどうしようかなど、と思いつつ走っていることもあります。だから、できるだけ家でして行くように心がけているのです。

障害者が一人で街へ行くということは、とても勇気のいることだと思います。でも、街へ出ることによって、いろいろな人びとに出会うことができ、とても楽しくて、自分が本当に障害者なのか、と迷うことがあります。

「障害ってなんですか？」障害をカバーするものがあれば、そして、そのものを自分の体の一部として使えば、大部分が障害をカバーしてくれるはずです。

障害者よ、もっと勇気を出して健常者と付き合しましょう。そして、いつかは自立へ。「私の足は電動車いすです」。

最後に一言「自分で考え、自分で決め、自分で行動する。それが自立だと思います」。何ごとにも「自分で」いうことが大事だと思います。

電動歯ブラシと靴べら 障害者支援施設・利用者

私は44年11月9日に、交通事故によって頸椎損傷になりました。現在は杖を使って歩行はできますが、日常生活のほとんどは電動車いすで行っております。

今回は私が日常生活において、使っている自助具について簡単に延べたいと思います。

電動歯ブラシ

これまで歯を磨くことはできませんでしたが、電動歯ブラシのおかげで自分で磨けるようになりました。

それ以来、あまり虫歯にならなくなって歯医者通いが少なくなりました。充電式なので旅行などに持ち運びが便利です。欠点として、歯に当てる強さの感覚がわからないので、気をつけないと歯ぐきを痛めることがある。

靴べら

利用方法として、手が上まで届きませんので、服を着るときなどに手の代わりに使っています。遠くの物を自分のところへ寄せたりするときに使っています。

補装具は障害に合ったものを自分で考案 地域住民・在宅障害者

私の病名は筋萎縮症、立つことができればなんとか短時間は、傳い歩行ができる状態です。が、筋肉が落ちて細くなった手足の関節には力がなく、フラフラ垂れ下がっており、足が前に出ないので、補装具をいろいろと作っていただきました。

しかし、いずれも重く、また取り付け、取り外しが大変で力のない私の手足には無理でした。

何とか自分に合った補装具ができないものかと、いろいろと考え、試作を重ねて作ったものが現在使用している補装具です。

軽い草履の鼻緒のところに、金具を取り付けてスプリングとくさりで垂れ下がる部分を足首からつり上げる。(スプリングは登り下りのときに関節部分が自由に上下するためのもの)簡単なものです。

足首に巻く帯はマジックテープを貼り、取り外しが簡単にできるようにしてあります。帯のつり上げる部分には細い板金を入れ、折り曲げ防止としてあります。

草履には足が抜けないようにゴム紐を付け、かがとにかけます。足の大小にかかわらず、簡単にできるのが便利です。足首の垂れる方は一度試してください。

あなたも自助具を作ってみませんか？

浴槽の腰かけ板

安定性がよく、場所をとりません。片麻痺の人が入浴するとき、この板にいったん腰をかけて浴槽に入ります。

(材料)

浴槽の大きさによっても多少ちがう。

- ・木材 (水に強いもの) 厚さ1cm以上、幅18~20cm
- ・L字型金具 (1辺から5cm以上) 11個
- ・バスマット (ポリエチレン製、木材と同じ大きさ)

(作り方)

1. 18~20cm幅の木材を浴槽の外まわりに合わせてカットする。
2. L字型金具を取り付けたとき表面に金具が出ないよう、木材の裏に埋め込み用の溝を作る。
3. 溝にL字型金具を取り付ける。浴槽のまわりにあててみて、ぴったりと合っているか

を確かめる。

4. 板を浴槽の外まわりにぴったりあわせて、裏に内まわりの線を付ける。
5. 線の上にL字型金具を取り付ける。
6. 接着剤で板の表面にバスマットを貼り付ける。(バスマットの表面の周囲を1.5cm幅ぐらいカットしておく、端が低くなり使いやすい。)

(ポイント)

さびにくい金具を使い、板を使用した後は水をよくきり乾かしてしておきましょう。

バスマットは、腰をずらすときすべるのを防ぎ、防寒の役目も果たしてくれます。

参考文献・(東京都社会福祉協議会編『自助具・介護用具』)

もの知り博士登場

身体障害者更生施設について

皆さんこんにちは。いよいよ梅雨の季節だね。今年度は身体障害者更生施設について講義を行っていく。計画としては①更生施設、②生活施設、③作業施設、④地域利用施設の順序で講義を行う予定である。第一回目は身体障害者更生施設について講義を行う。

この施設は、身体障害者を入所させて、その更生に必要な治療・指導・訓練を行う施設とされている。実際の運営は、障害の種類によって、肢体不自由者更生施設、視覚障害者更生施設、聴覚言語障害者更生施設、内部障害者更生施設、重度障害者更生援護施設として運営されている。

身体障害者更生施設の入所定員は30名以上。重度身体障害者更生援護施設は50名以上とされている。なお、各種別施設において、他の種類の障害者をも入所させることができる。

身体障害者更生援護施設は本来18歳以上の身体障害者のために設けられているものであるが、福祉措置の特例として、15歳以上の身体障害児についてその入所又は利用が認められる。

これから雨の季節が続くが元気で過ごしましょう。

(参考文献・介護福祉士養成講座『障害者福祉論』)

ワンチャン・ニャンチャン大集合 ～ワンチャンの巻～

元気くん登場

地域住民

ボクの名前は、秋田犬の“元気”といます。生まれて、まだ3ヶ月しかたっていないのに、怖いもの知らずで田んぼに入ったり、いつもチョコチョコ歩き回っているところから、飼い主のしっちゃんに名付けられました。

お父さんとお母さんはすごく大きくて、2頭とも60kgはあるらしいから、ボクも大人になったらあんなふうになるのかなあ。今、一番の悩みは耳がたれていることと太っていること。(飼い主によく似て)大人になれば、もっとかっこよくなれると思うんだけど…

早くお父さんお母さんのように大きくなって、きちんと留守番ができるようになりたいつ。

ワンチャン・ニャンチャン大募集中 !!

このコーナーに登場してくれるあなたの家のアイドル、ワンチャン・ニャンチャンを広く募集しています。

また、変わった特技を持っているワンチャン・ニャンチャンがいましたら、わたぼうし新聞で紹介していただませんか。たくさんの仲間をお待ちしています。

なお、写真は印刷できませんので、似顔絵、イラストを添えて下されば大歓迎!!

各地の催し物に参加して

山下 清展を観て 《4月》 ～香林坊8階にて～ 地域住民

知能指数が67の知恵遅れの少年が、八幡学園ではり絵を知ったことにより、彼の世界が広がっていく。「人に習ったのは本当の絵じゃない、絵というものは、自分で工夫していくものだ」と言う。彼の言葉に「芸術像は孤独だ」ということは、こういうことかしらと思ひ、すごいと感じた。実際に彼はこよりを使ったり、古切手や折り紙の裏側を使うなど色彩や立体感の工夫を施している。

入園したての簡単な蝉や蝶から剣道、ラジオ体操といった細々した学園の様子を現している。彼の空想した「お化け」も面白かった。「花火大会の様子」や「カーネーション」を経て「菊」などの大作も作成。彼の技法面での成長を伺える。

それにしても、八幡学園の園長はすごい、立派な教育者だと思う。国語や算術が丙だった清少年が、この国語や算術が楽しいと延べたという。

かすかな能力を見出して伸ばし、育てていく、「踏むな、育てよ、水そそげ」を実行し

たという大切さを物語っていることだ。自然淘汰だったか？

よく、教育は作物を育てることに例えられるが、そうかも。(少し今となっては古いかも知れないが？)

また、でっち奉公に上がった兄の主人が、「清は知恵遅れだから、古飯や腐りかけのおかずを食べていけばいい」と言ったら、「知恵が遅れていても(頭が悪くても)人間なんだから、ちゃんとしたおいしいものを食べたい」と自己主張をした彼に拍手を送りたい。

私だったら、言われなくとも自分からひきめを感じ、まずいご飯を我慢して食べていたかも知れない。

どんな人だって人格がある。彼は真理をちゃんと心得ている。そして恩師が亡くなったという知らせを聞いた時に「ちょうど、人並みに生きてよかったですね」のようなことを言ったという。不思議な人だ。確かに、67才で平均寿命を全うされたわけだが、清青年が知っていたとは思えない。

幼い頃(3才)言語障害にかかり、後に知恵遅れと分かるが、そのような小さな頃から仲間遊びはせずに、虫などを観察するのが好きだったという。虫取りが彼の大好きな遊びだったそうだ。そういえば、アンリ＝ファールも虫好きだった。彼の観察力というのは、虫取りで養われたそうである。事実、彼の絵や油絵など細かな描写で実によく描かれていると感心した。

一般に知恵遅れと呼ばれる人たちは、確かに生活年齢に比べて、精神年齢が低いかも知れないが、人間特有の感性、生きている心を大切にして、かすかな能力が伸ばせる学校ばかりでなく、地域社会でも伸び伸び生活できるよう、暖かい気持ちで接していくと、よいのかと思いました。

催し物・行事情報募集中 !!

このコーナーに掲載する催し物情報を募集しています。当新聞の発行予定は(3. 6. 9. 12月上旬)ですので、情報を早めに知らせて下されば幸いです。

わたぼうし広場

生徒から学んだもの

養護学校教諭

明和養護学校に赴任して早、3年が終わろうとしています。今年は中学部3年一組の担任です。言葉のない生徒がほとんどで、6ヶ月から2~3才位の学習をしています。

春のある肌寒い日でした。休み時間になると、いつも中庭の決まった芝生に座って過ごすH君。その日はどうしたわけなのか、コンクリートの上に座っています。あれ!先客でもあったのかと見てみましたが、誰もいなく指定席はちゃんと空いています。変だと思いつつながらH君のそばに行き、一緒にコンクリートの上に座ってみました。お尻がほのぼのと暖かなのです。陽ざしの弱い日は芝生よりずっと暖ったかいことを知っているのです。驚きました。

まつ毛の長いかわいいMちゃん。乙女チックなMちゃんの好きそうなテレビ番組でも10分と見てもらえないのに、表現会の日は一日中まんじりとも舞台に見入っています。映像に毒されて生の良さ、本物の本物たることを忘れかけている自分に気づき、ほっとさせられました。

校内放送で大きくリクエスト曲が流れる昼休み、音楽好きなS君は好きな曲をカセットにかけて、小さく小さくならして体を揺らしながら聴き入って楽しめます。騒音にもなりかねないスピーカーから流れる曲の中で、自分の好きな曲の小さな音をしっかり聴き取って楽しめるH君のその音感の鋭さには感服させられます。

バス遠足の日ことです。かたこと会話ができるようになったK君。「先生おる！おる！」と走っているバスの窓の外を指さします。え！何がいるのかな？

必死で見渡しますが、彼の好きなトラクターも、犬も飛行機も人も見あたりません。「おらんぞ！おらんぞ！どこへ行ったんや」と言います。窓の景色は稲が刈り取られた田園風景に変わっていました。「先生、おるぞ。おるぞ」。車窓には刈り入れ前の田園風景が目の前に広がっていました。稲を自分と同じ生き物として捕らえているのです。

3年たった今も、驚きと感動。そして小さな発見の毎日です。明和の子どもたちは個性的で実に魅力的です。全校生徒266名。教師としてかかわってみたい生徒ばかりです。

私の夢

在宅障害者

夢、私は昭和57年に脳内出血で左半身が全廃になりました。昭和63年に障害者施設「青山彩光苑」を退所し、家庭復帰をして1年6ヶ月間リハビリをしていました。

しかし、平成元年9月に脳梗塞になりました。右半身が不自由になり、右手右足の力がなくなってしまったので、車いすに乗ってリハビリに通っています。

3月末に病院を退院しました。そして、もう一度絶対に杖で歩行をしたり、家族5人で家庭で顔を合わせて生活することが夢です。健康に注意して、家庭復帰をして杖で歩くことが今一番の私の夢です。

私の夢

在宅障害者

私は昭和63年3月25日に、家の新築現場で作業中に7メートルの高さから転落しました。その事故で頸椎損傷というケガをし、そのために首から下が完全に麻痺して全身が動かなくなっていました。

一度は深く落ち込みましたが、いろいろな人たちからの励ましで立ち直りました。リハビリの効果があり、今では腕が動くようになりました。装具を着ければ食事ができるようになり、毎日の食事を楽しくしています。

これからの自分としては、まだまだしたいことがあります。一番の夢は、もう一度自分の足で歩くことです。これは夢のまた夢だと思いますが、今は動く腕を活かして、もっと

もっといろいろなことをしたいと思います。

これからも、一層リハビリに頑張って指先を動かし、物を握ったり、持ったりができたらどんなにか嬉しいことかと思います。だめだと、分かっているけど、希望と夢を持って頑張ろう、一日も早く家族と一緒に楽しく暮らして行きたいと思っています。

キャッシュカード

在宅障害者

私はキャッシュカードをよく利用する。キャッシュカードが便利なのは今さら言うまでもないことだが、一つだけ言いたいことがある。それは、払い出し伝票がいないことだ。字の書けない私にとって、これはとても便利なのだ。

もし、私が払い出し伝票を使って払い出しをするときは、まず、前もって銀行から10枚程度の伝票をもらっておいて、出かける前に誰かに金額や名前を書いてもらい、その伝票・印鑑・通帳を持って窓口に行ってお金を受け取るのである。

その点キャッシュカードでは暗証番号と金額などをボタン操作で行うのだから、最初に使うときにその配列を教えてもらえば、後はすべて自分でできるのである。伝票のストックもいなければ、突発的に銀行へ行っても大丈夫なのだ。

ところが、私の取引をしている銀行は昨年、新しい機械を取り入れたことで、私には使えなくなってしまった。ボタンがなくなってしまったからである。その新しい機械は、ディスプレイ上の部分に押す部分が表示され、その必要な場所に手で触れて操作するもので、私のような盲人にはとても使えるものではない。

今後、すべての自動支払機がタッチ式になったら、私たち盲人は、また伝票式に逆戻りすることになるのかも知れない。新しい支払機は本当によいのか？利用している人に聞きたいのだが、新しい支払機は使いやすいのだろうか。

ある人は一生懸命にディスプレイに近づいて見ようとしたら、鼻が触れて機械が動いた。また、ある銀行員から聞いた話によると、指紋がつくとうまく動かなくなって、よく苦情が出るので、ときどき拭き取っているそうだ。

なぜ、タッチ式の機械に変えるのか聞いてみたいものだ。もしも、業者に振り回されているとしたら、考え直して欲しい。

以前、触っただけで反応するエレベーターがあったが、使い勝手が悪かったせいかな今はない。その使いにくい方式が今になって、なぜ、また出てきたのか不思議でならない。今後、このような機械が広がらないことを願っている。

新しい仕事に挑戦 !! 障害者支援施設・利用者

私たちは昨年11月より、ワイピングクロスの加工ならびに販売を始めました。その加工に11名の仲間が参加し、みんなやる気まんまんです。将来は授産所の中に、販売事務所を設立したいと思っています。

ワイピングクロスというのは、テイジンさんの提供によるミクロの繊維で織ってあるふきとり布です。給油性、吸水性に優れていて、何回でも洗うことができます。

ガラス関係は、特にメガネとかサングラスのちりやほこりなどがよく取れます。また、テレビ、ワープロなどのお手入れなどにも使用できます。漆関係、特に漆は光沢度100%の試験データが出ております。

この仕事を始めてから、外に出る機会ができて、僕らはセールスマンの真似をしています。でも、僕らはそれを苦痛にしていません。それよりも楽しいのです。

ワイピングクロスには4種類があります。今回は特別価格で皆さんに奉仕します。!!

水色小の500円の品を400円

白色小の600円の品を500円

白色中の1,200円の品を1,000円

白色大の2,400円の品を2,000円で販売をしております。

興味のおありの方がいましたら、県立授産所まで連絡して下さい。

〒921 石川郡野々市町末松2丁目239

石川県立身体障害者授産所

☎ (0762) 48-3204

ワイピングクロスとは？

テイジンの最先端技術により開発された超極細繊維を利用して作られたハイクオリティな全く新しい拭き取り布です。

この商品は身体障害者が困難な身体を克服し、「皆様に一つでも多く使用してほしい」と願を込めて作業（ワイピングクロスの袋詰め）をしたものです。（参考資料より抜粋）

出会い

地域住民

私たちは自分の生涯の中で、何人ぐらいの人と出会うのでしょうか。自分が大人になるにつれ、行動範囲が広がるにつれて、出会いも多くなりますね。そんな中でも、よかったと思う出会いはどれくらいあるのでしょうか。

出会う人の中には、楽しくさせてくれる、話を聞いてくれる、教えてくれる、遊んでくれる、悲しみを分かってくれる、励ましてくれる、助けてくれる人などがいて、ときには、意地悪をする、けんかをする人もいるでしょう。そんないろいろな人と出会う、出会えるということは、自分の人生に活気を与えると同時に、自分の人生を有意義に過ごすことを考える一つの機会にもなります。

私も今までの自分を振り返ると、いろいろな出会いをしています。意地悪されて、悩んだことがあります。どうして、そんなことをするのか、私がどうすれば、みんなと仲良くでき、嫌われないのかと考えたことを、今でも思い出します。

その解決は、特別なことをしなくても、時間とともに、まわりのみんなが優しくなってきたくれ、私もみんなと仲良くなろうとしたことだったように思います。あのときから自分中心にならず、他人と仲良くすることを教えられたような気がします。

また、自分の人生の目的が分からず、悩んだこともあります。でも、そんなときにも、不思議と出会う人たちに力づけられました。

頑張っている人を見れば、自分が甘えていることを知らされます。何かに真剣になっていることは、とても素晴らしいのです。私はいつもそう思います。だから、私の人生を素晴らしいものにするために、いろいろな人と出会いたいと思います。

～文芸～

ボケ予防

元石川県立養護学校長

私は当年75。40代の若い頃は相撲、柔道、ハンドボール等をやりました。

昭和44年から4年間は石川県立養護学校に勤める。今から12年前より前住所の県体育館で「自主実践健康長寿」の健康クラブを創設しました。

昨年夏、突然、活動中に冷や汗、派手に救急車にて入院しました。心臓動脈を移植バイパス手術を宣告されましたが、この年令では怖くなり願って退院し、目下、食と薬の闘病中。視聴臭味はほとんどだめなので、味気ない毎日です。五七五と指折り数えて、着膨れて歩いたりしています。

- ・生きてよし有難やまた春となり
- ・わが植えし分家の柿孫とどけ
- ・アデランス勝る魅力の膝小僧
- ・ボケはじめ貫禄充分謝辞を述べ
- ・目薬を大口開いて喉が待つ
- ・薬漬け感覚音痴の御闘病
- ・雪吊りの綱ゆるみたる水鏡
- ・鯉起こし寝床で数ふ五七五
- ・無理しない無理するなよと無理を言い
- ・塩まいて力士のカップあげましょ
- ・三世代生かされてなお健クラブ
- ・まんざらでなければ立たず朝鏡

- ・わが同期先に逝く夏友ありて犀の河畔に花火宴かな
- ・緑風の医王に競う銀髪の今日の元気の末長くあれ
- ・健康保持つとめるなりて年老いるまだまだ生きてクラブにかよう

あなたも手話に挑戦してみませんか？

NHK教育テレビ・みんなの手話

- ・放送時間：教育テレビ（月）午後6：30～7：00
再放送（土）午後1：00～1：30
- ・テキスト：定価300円（税込み）

手話は、聴覚障害者のコミュニケーションの手段として、お互い同士あるいは健聴の人との理解を深めるために欠かせないものであり、また聴覚障害者が社会参加をしていくうえで、大事な役割をはたしています。

この番組では、初歩から手話の学習を希望される方がたに役立つよう、基本的な手話や日常生活で使われる表現のしかた、また手話への理解を深めるために、毎回ゲストを迎えて解説や情報が提供されています。

なお、4～6月の放送分が7～9月に再放送されますので、今からでも入門できます。10月より応用編に入る予定です。

新聞切り抜き記事より

加賀市民会館に点字ブロック設置される

加賀市民会館に4月4日までに、点字ブロックが設置された。間もなく館内に点字の案内盤も設けられる予定で、目の不自由な市民の利用が便利になる。

このほか、点字による案内板やエレベーターのボタンに点字の表示が付き利用しやすくなり、駐車場のスロープ横には車いす利用者の専用駐車スペースが黄色い線で確保される計画である。

（4月5日付け「北陸中日新聞」より）

本の紹介

しあわせのかくしあじ

かとう みちこ著 地湧社 定価：1,200円（税別）

私は、ある難病と難病と仲良く同居しています。「無腐性壊死」と言い、細胞が死んでゆく病気です。

今、左股関節、右ひざが病んでいます。同時に歩けることの幸せを、強く強くかみしめています。

この本は、7年前に発行された古い本ですが、病気と闘いながら、司会、ナレーターとして活躍をしているかとうさんの闘病記と詩で構成されています。（本文より）

原稿募集について

今回のテーマ「障害者と自動販売機」について、原稿を広く募集しています。あなたの自動販売機での困った経験談をお寄せ下さい。

原稿を書くことが苦手な方は、カセットテープにご意見を吹き込んで送付していただいてもよろしいのです。あなたのご意見をカセットテープに録音して編集部までお送り下さい。カセットテープは折り返し返却いたします。時間は約15分以内でお願いします。

また、行事・催し物情報を広く募集しています。当新聞の発行予定は3. 6. 9. 12月の上旬ですので、編集の関係上早めにお知らせ下さい。

編集後記

この間、金沢の母子福祉センターで体の不自由な人へのエチケットと言うパンフを見付けました。

裏には「ほほえみ 広がる 友情わく力」「ほほえみの石川大会」と書いてあるではありませんか。車いすバスケ、盲人野球、聴覚障害者バレーボール等。

三越の横には、車いすでも入れそうな電話BOXがありました。ガイドやパンフは駅、病院、旅館におくといいかも、もっとよい場所ないですか？

編集委員は、手探りで企画をしています。もっと知りたい情報、おもしろいコーナーを教えてください。お待ちしております。

「ほほえみ石川大会」

第27回全国身体障害者スポーツ大会

大会期間：平成3年10月26日（土）～27日（日）

開催地：金沢市・松任市

ただ今、障害者と自動販売機についての原稿募集中！
20号のテーマは「障害者と自動販売機」